

# 図書館だより 冬・新春号



小千谷市立図書館 2012.1 発行

本年も皆さんから、たくさんのご利用お待ちしております。

## ～今月のおすすめ本～ ※ ( ) 内は分類番号です

- ☆『猫怪々』 加門 七海(914.6) ☆『雨の背中』 中場 利一(913.6)  
☆『お屋敷散歩』 内田 青蔵(523) ☆『ゲゲゲの老境三昧』 水木 しげる(498.3)  
☆『髑髏城の花嫁』 田中 芳樹(K913) ☆『ワン・モア』 桜木 紫乃(913.6)  
☆『さんぽのき』 サトシン (E) ☆『とっておきのあさ』 宮本 忠夫(E)  
☆『はじめての色えんぴつ』 秋草 愛(725)

## 小千谷市立図書館 ベストリクエスト

2011.10～2011.12 まで



1. 『謎解きはディナーのあとで 2』 東川 篤哉 (913.6)
2. 『境 遇』 湊 かなえ (913.6)
3. 『人生がときめく片づけの魔法』 近藤 麻理恵 (597)
4. 『はやく名探偵になりたい』 東川 篤哉 (913.6)
5. 『舟を編む』 三浦 しをん (913.6)

# \* 図書館行事案内&お知らせ \*

## ◎ リサイクル市 ～保存期限が切れた雑誌などを無料でさしあげます!!～

・日 時 1月28日(土)・29(日)

午前10時30分～午後3時

・会 場 市民会館 2階 中会議室

・冊 数 一人 雑誌5冊(1誌につき2冊まで)・本10冊までとなります。

毎年大人気のリサイクル市です。

当日は大変混雑が予想されます。皆様のご理解・ご協力をお願いします。

※ 電話などで予約確保は受け付けしていませんのでご了承ください。



## ◎ 『人形劇団 オフィスやまいも』が再びやって来る!!

・日 時 3月4日(日) 市民会館 4階 大会議室

午後2時～3時(開場:午後1時30分)

・人形劇 「おむすびころりん」

家族みんなで、一緒に楽しいひと時を過ごしませんか?入場は無料です!!

皆さんお誘いあわせのうえご来場ください。



## ◎ 図書館教養講座 その1

◎ 日 時 2月4日(土)  
午後2時～3時30分

◎ 会 場 市民会館 2階 中会議室

「小千谷・越後平野南部の大地の変動」  
—その生い立ちと成長—

講師 長岡市の飯川健勝さん

(理学博士 元小千谷西高校教諭)



ぜひ、皆さん足をお運びください。

※ また詳細等は市報及び図書館ホームページ等でお知らせします。

## ◎ 図書館特別休館日

図書の蔵書点検と整理のため下記の期間、休館させていただきます。  
これに伴い、特別貸出を行います。どうぞご家族でご利用ください。

# 3月5日 (月) ~ 12日 (月)

休館します

◎特別貸出実施期間 2月21日 (火) ~ 3月4日 (日) まで (毎週月曜は休館日)

\* 貸出期間 全て 3週間

\* 貸出冊数 ◇ 図 書：無制限！何冊でもOK！

◇ 新着図書・雑誌：各5冊以内

◇ ビデオ・DVD・紙芝居：2巻以内

\* その他

- ・休館期間中は、電話・メールなどによる調査相談は受付できません。
- ・新聞閲覧は、市民会館1階ホワイエが利用できます。
- ・市内6施設に配本してある図書は通常通り利用できます。  
(勤労青少年ホーム・片貝総合センター・川井、岩沢、真人、東山の  
各住民センターにも図書館の本がありますので是非ご利用ください。)

## 図書館からのお願い…

# 本が泣いています



最近、図書館の本に書き込み (アンダーライン・落書きなど)・雑誌等ページの切り抜き・

水濡れ・食べこぼし・無断持ち出しなどがあり大変困っています。

図書館の本は、1人だけではなく多くの市民の皆さんに利用していただくものです。  
次に手に取る人が気持ちよく読めるよう大切に利用願います。またDVDの細かい傷・ケースの破損も目立ちます。図書館では、DVDディスクのクリーニング・ケースの交換をしていますが、取り扱いには十分ご注意願います。

## ～小千谷市指定文化財『明石堂』について～

小千谷市立図書館の1階東側、ちょうど児童書から文庫本が並んでいる付近から外を見るときれいな苔庭があります。季節の移り変わりをいつも目にできるすばらしい環境ですね。そしてこの庭には一棟のお堂があります。雪国らしい高床のお堂は図書館に背中を見せる格好になりますが、正面に回ってみたことはあるでしょうか。

極楽寺の境内にあるこのお堂は明石堂とって、小千谷縮を發明したといわれる堀次郎<sup>まさとし</sup>将俊をまつたものです。将俊の出身は播州明石(今の兵庫県)ですので明石次郎とも呼ばれています。江戸時代の中ごろに、はるか遠くから小千谷に家族でやってきて、小千谷縮を發明し魚沼地域全体に広めました。

現在の建物は嘉永元年(1848)に小千谷の縮商人たちによって建てられたもので、豪雪に耐えて現在まで大切に残されています。今でも年に1回、秋に一般公開されますので、図書館にお寄りになった際に一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

常に新しい本や雑誌が入り、知識欲を刺激する図書館と、江戸時代から変わらず立ち続ける明石堂が隣りあわせにある小千谷の町は懐が深いと感じます。

(参考「越後のちぢみ」西脇新次郎／著・「越後縮布の歴史と技術」渡辺三省／著)



図書館2階  
事務室窓から撮影

冬の明石堂

## ～館長の つぶやき～

さて、今回は図書館の分館についてのお話です。

分館といっても、小千谷市では他市のように中央図書館とちゃんとした分館があるわけではありません。市内6ヶ所に図書館の本が常時置いてあり、年数回の入替えをしています。中でも、東地区の勤労青少年ホーム(小千谷市公民館東小千谷分館)の図書室は最大規模で、約3,000冊の本や雑誌などがあります。ここでは図書室においてある本や雑誌を同じように借りたり返したりできますし、本館の本を予約して取り寄せて勤労青少年ホームで借りたり、逆に本館で借りた本を勤労青少年ホームに返したりもできます。

おなじように、おいてある冊数は少ないですが、片貝総合センター、真人・岩沢・川井・東山の各住民センターで本を借りたり、返したり、予約して取り寄せたりできます。どうぞこれからの雪の季節には特に、お近くの施設をご利用ください。

なお、ご自宅でインターネットができる場合は、最初に一度だけ図書館で登録していただきますと、図書館のホームページ上で本を探したり、予約ができます。本が借りられるようになると、携帯電話やパソコンに本が用意できましたというメールが届きますので、非常に便利です。ぜひご利用ください。

インターネットが普及してきて、簡単に検索できたり便利な世の中になりましたが、もちろんインターネットができなくても、電話や施設でお気軽に問い合わせください。

暖かいこたつの上で本を読むと、心も暖かくなるかもしれません。